41









Watch Repairing
時計修理

腕時計の修理を通して持ち主の思いを大切にする

時計修理の仕事は、専門知識や繊細な技能、そして高い感性を駆使して腕時計が正確に時を刻み続けられるよう、分解・点検・修理・調整などのメンテナンスを行うものです。腕時計は正しい時を示す道具であると同時に、持ち主の個性や思いを映す存在です。時計を修理するということは、単に故障を直すだけでなく、大切に守られてきた時と記憶を未来につなぐことでもあります。





＜2025年大会 競技課題＞

競技職種と生活との関わり

時計は古くから人々の生活の中で、身近な存在として時を知らせてきました。時に親から子へと受け継がれ、世代を超えて大切にされてきた品でもあります。また時計は単なる時間を知る道具にとどまらず、ライフスタイルや個性を表現するアイテムとしての価値も持っています。持つ人の思いのこもった時計を長く愛用していただきたい ── その願いを支えるのが時計修理士の使命です。

使い続けるために求められるのは正確性と美しさ

時計修理職種の競技では、限られた時間内に腕時計の分解・修理、精密部品の製作を行います。時計は、単なる道具にとどまらず、人々の生活や思い出を支える大切な存在ですが、本競技では、競技者が時計の声を聞き、確かな技術によって壊れた時計を甦らせ、必要な部品を正確に作り出す技能を競います。限られた資源を有効に活かし、大切なものを長く使い続けることは、サステナビリティやエコの観点からも重要です。時計修理の技能は持続可能な社会に貢献する価値ある技術です。

樋口 晴彦 主査　一般社団法人日本時計協会



前回大会金メダリストからメッセージ！

［所属：秋田エプソン株式会社］

仙道 琉 さん

自分をより
もっとレベルアップして
頑張っていって
ください！



前回大会
金メダリスト
インタビュー！